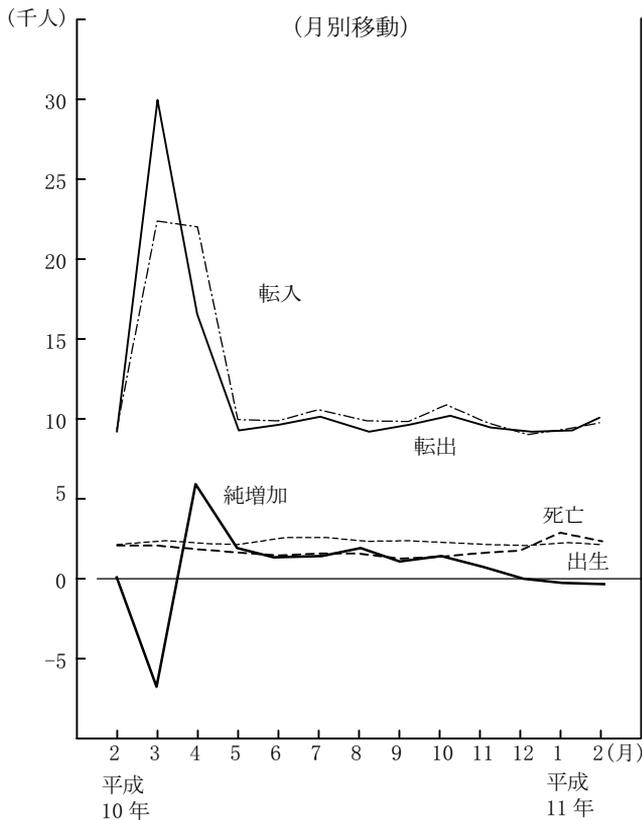


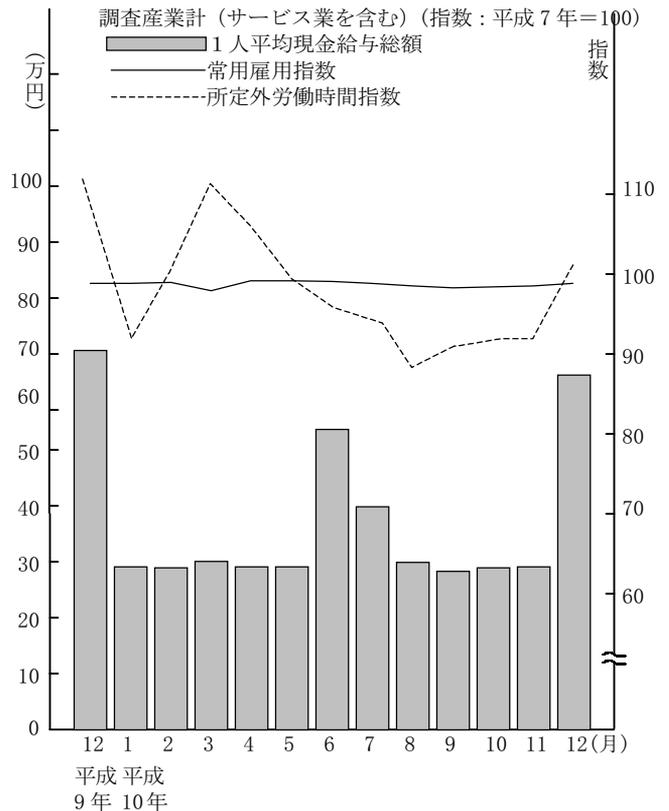
## ■今月の主な動き

### 今月の主な動き

#### 人 口



#### 賃金・労働時間・雇用



## ■人口（11年3月1日）

### 2月の概況

本県の人口は、2月中に361人減少し、3月1日現在で、**2,994,876人**（男1,494,982人、女1,499,894人）となった。

内訳は、自然動態で、92人（出生2,247人、死亡2,339人）減少し、社会動態で、269人（転入9,008人、転出9,277人）減少した。前年同月と比べると8,524人（0.3%）の増加である。

市町村別では、増加が8市21町村、減少が12市41町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても2月中に、309世帯増加し**975,545世帯**となった。

## ■賃金・労働時間・雇用（10年12月）

### 1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は、調査産業計で**657,464円**、対前年同月比8.2%減、このうち、きまって支給する給与は274,622円、対前年同月比1.2%減であった。特別に支払われた給与は、382,842円であった。

### 2. 労働時間

12月の総実労働時間は、調査産業計で**155.8時間**、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は144.8時間、対前年同月比1.3%減、所定外労働時間は11.0時間、対前年同月比10.5%減であった。

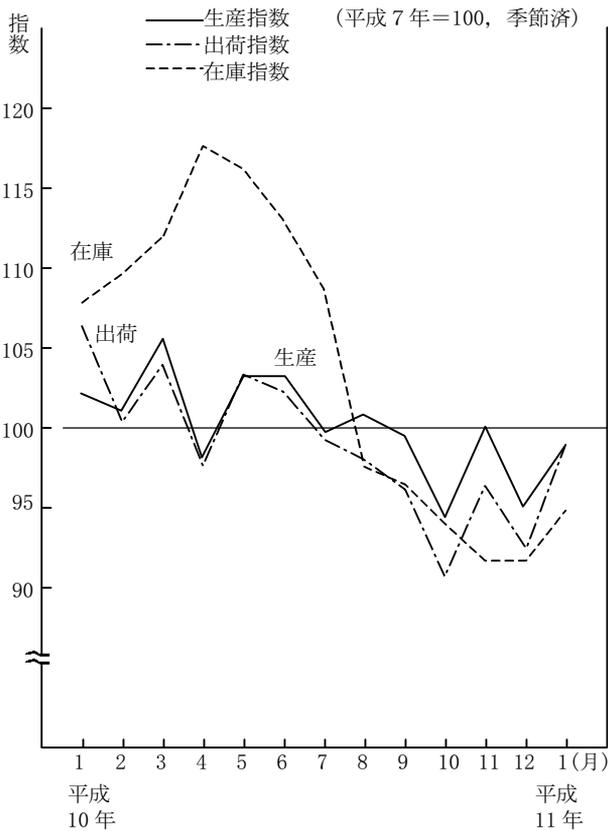
### 3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.1%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

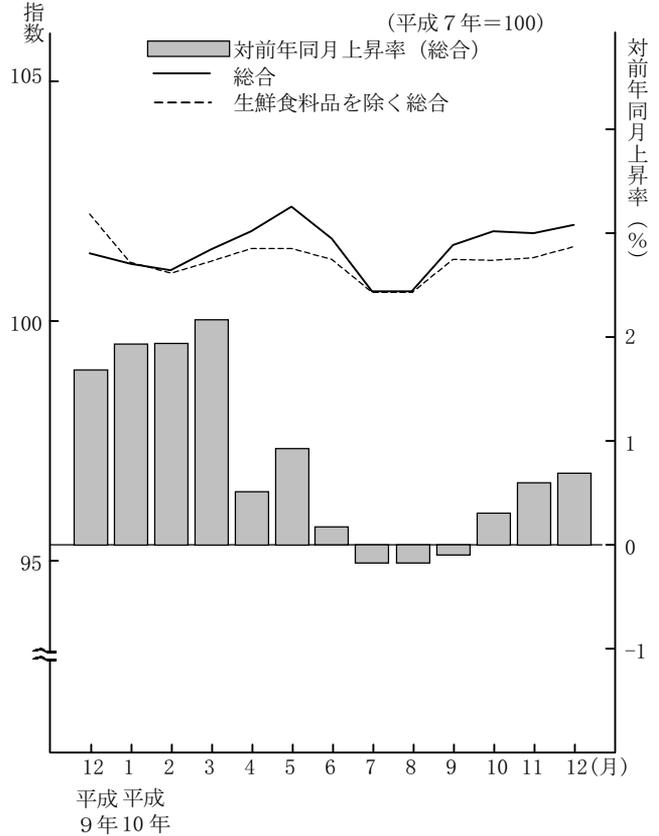


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年1月）

本県における平成11年1月の“鉱工業指数”（平成7年＝100）は、季節調整済指数で、生産が98.6、出荷が98.8、在庫が94.8で、前月比は、生産が3.8%の上昇、出荷が6.8%の上昇、在庫が3.4%の上昇であった。前月同月比（原指数）は、生産が△3.5%の低下、出荷が△7.0%の低下、在庫が△12.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、食料品・たばこ工業、一般機械工業等が上昇し、繊維工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では、鉱業、一般機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、繊維工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、電気機械工業等が上昇し、鉱業、繊維工業、一般機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、資本財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。在庫では、耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、非耐久消費財、資本財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（10年12月）

平成10年12月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で102.5（平成7年＝100）となり、対前月比0.1%の上昇、対前年同月比0.7%の上昇となった。

今月の上がった主な項目・・・魚介類3.3%、乳卵類2.7%、たばこ7.8%

今月の下がった主な項目・・・野菜・海藻5.1%、油脂・調味料1.8%

生鮮食品を除く総合は102.0となり、対前月比0.2%の上昇、対前年同月比0.4%の下落であった。

■ 費目別指数

（平成7年＝100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	102.5	0.1	0.7	保健医療	112.0	△0.1	△0.7
食料	104.0	△0.1	4.1	交通通信	97.6	0.0	△1.1
住居	101.9	0.3	△0.3	教育	107.4	0.0	1.0
光熱・水道	101.9	0.0	△3.0	教養娯楽	99.0	0.0	△1.1
家具・家事用品	96.6	0.1	△0.4	諸雑費	102.5	1.7	1.6
被服及び履物	110.1	△0.1	0.2	生鮮食品を除く総合	102.0	0.2	△0.4